

名家手簡

心集

上

名家手簡

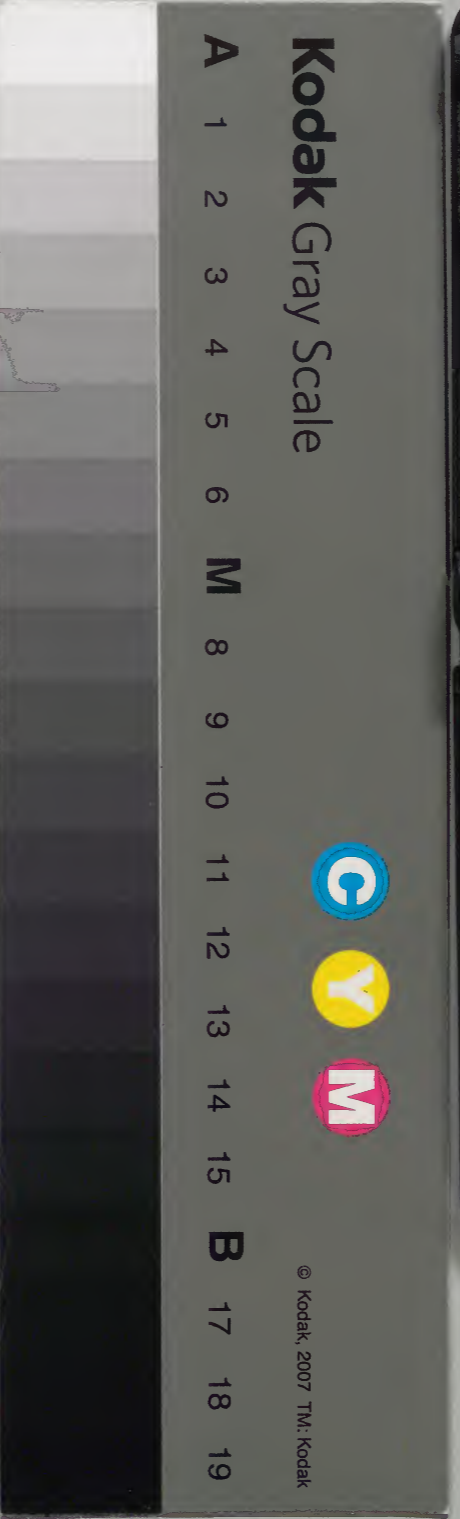
書簡往來

新刊

和書門	
二六〇六五	類
六九	函
二〇	冊

內閣文庫	
二六〇六五	和書
二〇	冊
二〇	函

內閣文庫	
番號	和 26065
冊數	20 (11)
函號	204 262



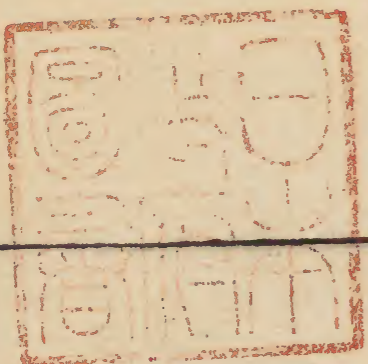
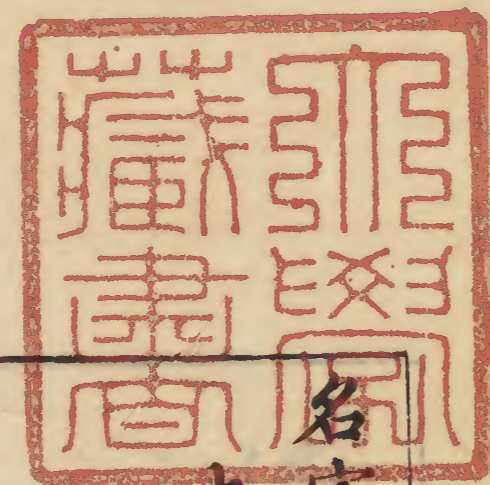
香雪先生鈞筆

名家手簡

三亥五花板



六 系



名家手簡六集目錄

上卷

伊藤仁齋

熊澤蕃山

松岡恕庵

中野撫謙

平林惇信

下卷

木瀨隨宜

中江藤樹

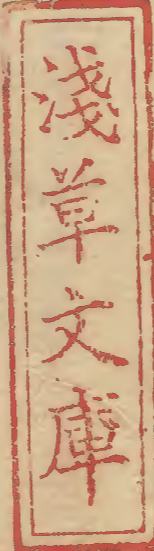
成島錦江

僧心越

荻生北溪

片山北海

稻生魚彦



建部凌依

羽倉在滿

加藤千蔭

村田春海

釋澄月

小澤蘆庵

伴蒿蹊

羽倉蒼生女

伊藤仁齋

名維楨字源佐別号古義堂崇隱其先泉州人
移住于京師堀川宝永年間七十九卒

狂言百松氏子同好也

抄本ありし者いふに

小笠原氏ありし

改采之志あり目録

ありし者ありし

山城守松平氏松平

氏ありし

法部宗末可茲按一也
弄璋之喜也
目如星辰
正行
法部宗末
此其
次
第一

居以
予
由子
新
予
以
予
以
以

此は... 高曲新... 所筆... 中... 心... 各... 不...

各... 不... 心... 中... 所... 心... 各... 不...

中江藤樹

言借しす其次侍ヨリ
ト多シヨリト多シヨリ
カ又部ノヨリト多シ

乃

書

又其轉ノ字ニモ此日不毎
トナシトハ其ノ又次
ヨリ

ト
又四行ニシテ

藏書印
...

熊澤蕃山

名了芥字伯繼又号息游軒林次郎八後更助右衛門
平安人仕備前侯元禄四年七十三卒

あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは

あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは
あはれはのれはは

一 横市より右へは交え
ぬありきや好くも
元来はきこひしを
ひらきしはこゝろを
とらえ
一 村にたふしは多
くも
とらえ

一 横市より右へは交え
ぬありきや好くも
元来はきこひしを
ひらきしはこゝろを
とらえ
一 村にたふしは多
くも
とらえ

十一言
信来

西文義
本平有集

印

松岡恕庵

名玄達字成章又号怡顔
後以物産學其名大震

一唯口又借仕後以信
雅道遠其力賜屋野
三月月廿九條三橋院
今日月廿九日知時紅
松誓願寺之末元如生

三上信元 抄多入也。一
林之上也。口次二平物、
又又口和布 澤山平知
元元 阿利少島平鳴行
金能也 少^林異心 一平知
お、若考 口上信 又口
抄草 昔 布田氏 偵 派也

上抄斗 抄言 凡分
有之 抄 州首 一
初の抄口

十号

若也 抄 下 抄 多 入 也

僧心越

名興傳号東阜明浙江人嗣壽昌每明法延寶五年
歸化寓于江戸後住水戸元禄八年五十七寂

龍 泰 主 師 書

曆新十四夜 撰大切首補

華古深濃函

自愛難謝 隆情未知

何日何時

大教方聲 風德可

因只乘山 祝未和古抄

問其原方 古不心相此連

近又自瑞 夢鉄牛師事古

云吾 國制法素我為原僧

沿入東都 云從即有一

信附飛 撒報知

水乃之靈待其回音便
知端的不合公家
雅意又承 後名師身道
未相顧有賴之極如此
高誼何以克當但新執
天應賜保在始得而奉
芝顏六一暢言也病中草
具端也

執卷王柳 謹啟
東園之書 轉抄音祥
左集

中野撫謙

名繼善字完前称善助長崎人林道榮侄仕
関宿侯享保五年五十四卒

一先の如く
心は如く
竹是の如く
心は如く

花の如く
心は如く
竹是の如く
心は如く

一
下
二
三
四
五
六
七
八
九
十

正

地

勢
之
勢

菟生北溪

名觀字叔達稱惣七郎但徠房
東都講官宝曆四年卒

山
之
勢
之
勢

之
通
之
勢
之
勢

之
勢
之
勢
之
勢

之
勢
之
勢
之
勢

之
勢
之
勢
之
勢

平林惇信

字明義号消日居梅庄五郎江戸人書學廣澤
寶曆三年没五十八

Handwritten calligraphy in cursive style (sōsho), consisting of several vertical columns of characters.

Handwritten calligraphy in cursive style (sōsho), consisting of several vertical columns of characters.

片山北海

名猷字孝秩别号混沌社越後新瀉人
学宇野明霞寛政三年六十八没

逢原堂藏

江分西傾海以多况
若然多集水然何余
之如若若子新若
对若若若若若若若
若若若若若若若若

若若若若若若若若
若若若若若若若若
若若若若若若若若
若若若若若若若若
若若若若若若若若
若若若若若若若若
若若若若若若若若
若若若若若若若若

会々々々後々々々
けさささささ
藤子さささ
泣きさささ
ささささ
物物物物
少々々々

夕積海起
あさあさ
ささささ
祈さささ
さささ
在逃の食

此の書は、
信長公の御
筆に感ずる
事あり。此の
筆は、
平一に
か川え有る

